

No.108

あゆい

公益財団法人 会田病院広報誌

2016年1月号

●発行●
(公財)会田病院

●編集●
広報編集委員会

2016年1月10日発行



あけましておめでとう
ございます。

【表紙】「雪化粧をした大内宿」
撮影者/リハビリテーション科 蓮田 加奈子

- 年頭のご挨拶 (理事長 会田征彦) 2 P
- 新年のご挨拶 (小池荘介・梶原周二・高野美智子・鈴木洋子)・ 3 P
- 新任医師紹介 4 P
- 介護の日イベント 4 P
- 消防訓練に参加して 5 P
- 職員旅行満喫してきました 5 P
- 管理栄養士 オススメレシピ! 5 P
- ノロウィルスについての研修会を実施して..... 6 P
- 会田メモリアルカップに参加して 6 P

- 未来くるやぶきの大会に参加してきました ... 6 P
- 職員・奨学生募集 6 P
- Photo News 7 P
- 患者様向け勉強会のご案内 7 P
- 編集後記 7 P
- 会田病院の理念 8 P
- 外来診察担当のご案内 8 P
- 無料送迎バスのご案内 8 P
- アクセス・駐車場のご案内 8 P

ホームページ <http://www.aida-hp.or.jp/>

e-mail ahp@aida-hp.or.jp



年頭のご挨拶 「希望という未来を信じて」

理事長 院長 会田 征彦

新年あけましておめでとうございます。

2016年の元旦をご家族と共に穏やかに希望に満ちた気持ちで迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

1946年(昭和21年)の病院設立以来、多くの先輩職員の方の積み重ねに加え、地域の人達に支えられ、現在の公益財団法人会田病院としての姿がある事に心から感謝申し上げます。

今年には病院設立70周年を迎えました。現在の癌死亡率を遥かに凌ぐ死の病と恐れられた肺結核撲滅の為に、東北で最初の民間による肺結核外科療法専門病院として初代院長会田宗太郎(私の父親)が心血を注いだ38年後の1984年(昭和59年)に私が院長を引き継ぎ、疾病構造の変化に伴い、地域における保健、医療、介護、福祉の包括的役割を果たすケアミックス型の現在の病院となりました。

開設者が掲げ灯した全人的医療の信念を守り、病に苦しみ、救いを求める人々の心に寄り添う診療を継続することで培うことの出来た地域に於ける信頼は、何よりも価値のある私達の財産であり、これからもこれを育てながら期待される病院づくりに専心努力することが求められております。当院の基本理念である「良質な医療を安全に提供できる病院づくりに努め地域社会に貢献する」ために今年度の改革実現の目標を以下に示します。

- 1、良質な医療を安全に効率良く提供できる体制の確立
 - 医師・コメディカルはじめ全職員の資質向上と教育・指導の徹底・チーム医療の更なる推進
- 2、チーム・アイデアスタッフ・人ひとりの人間力向上対策
 - 社会人としての礼儀、マナーを習得し感謝の気持ちを持てる人を目指す
 - 心豊かな人間性(謙虚で感謝の心を持つ人)
 - 同僚へのいたわり、思いやりを持つ

3、病院機能評価受審

4、経営基盤確立に基づく職員満足度向上対策

5、院内各部門の横断的連携強化によるチーム医療の推進

私が指揮した30年間を振り返りますとその道のりは順風満帆の時ばかりではなく、逆風が吹いたり、重大な危機的状況が訪れた事もありました。特に忘れ難いピンチは2011年3月11日の東日本大震災による病院機能停止状態に陥ったことでした。停電に加え水道管及びガス管が破裂し、ライフラインが途絶えた状況の中、全職員一丸となって「160余名の入院患者の緊急避難移動、県内外病院への搬送を三昼夜かけて死亡者ゼロで終了させました。応援に駆け付け付けて下さった県内外の病院スタッフ、救急隊、徹夜で復旧作業を続けて下さった建築・設備業者、水や食料、燃料等を千葉、神奈川、新潟などから差し入れて下さった友人、知人、ボランティアの方々、懸命な職員の団結力のおかげもあり約2週間で8割程度病院機能は回復できました。

以上の経験から、我々は多くの人達に支えられて生かされている事を学び、そして心や身体を病み、救いを求める患者に手をさしのべる医療を続けられることに感謝し責任の重さを再認識いたしました。

医療人の大切なところがまえば、常に謙虚で感謝の気持ちで忘れることなく、人の為、世の為になる事を仕事としている日々の姿に誇りを持ち続けることです。

知恵を出し合い、助け合ってチーム力向上の為に「ワンフォアオール、オールフォアワンの精神」で前進すれば、明るい未来がきっと開けると確信いたします。

公益財団法人

会田病院の理念

- かけがえのない、ひとり一人の命と健康を守るために、
- 最良の医療を提供し、
- 保健・医療・介護福祉の充実をはかり、
- 地域社会に貢献します

会田病院の基本方針

- 一、患者さんを第一に考え、地域の信頼を得る
- 二、基幹病院として、地域と連携を密にする
- 三、医療の安全管理に最大限努力する
- 四、患者さんの権利と、その意思を尊重する
- 五、高い理想を持ちつつ、自己研鑽を怠らない

2016年 新年のご挨拶



副院長
小池 荘介

明けまして
おめでとーございます

私事になりますが、私は会田病院にお世話になって今年
は11年目、非常勤の時から数
えると33年目になります。こ
の間、病院での診療さらに訪
問診療を通して、患者様から
様々な事を教わり、遅まきな
がら、医療はどうあるべきか、
やつと分かってきたと感じてお
ります。

さて、今年「猿年」です。い
わゆる「見ざる」「聞かざる」「
言わざる」ではなく「見るさ
る」「聞くさる」「言うさる」を
モットーに、患者様から教わつ
た経験を基にし、病院の「御意
見番」として、より安全、安心
な会田病院へと努めていきたく
と思えます。
今年もよろしくお願いた
します。



副院長
梶原 周二

新年あけまして
おめでとーございます

赴任し6か月余り、ようやく
会田病院の仕組みやスタッフにも
慣れてきました。私事ですが昨年
1年間腰痛に悩まされ院内を歩
くのもつらい時期がありました。

内服をしても、注射をしても全
く効かず手術も考えました。幸
い、リハビリのお蔭で改善し手術
を回避できました。医師になり40
年余りたちますが、常に医師の視
点からだけ医療を捉えてきたき
らいがあります。改めてパラメディ
カルの底力を実感しました。
今年、病院機能評価受審の年
でもあります。秋までパラメディカ
ルも含め全員で無事合格するよ
う頑張っていきたいと思えます。



管理部長
高野 美智子

明けまして
おめでとーございます

本年は地域の皆さまに支えられ、会
田病院が創立70年を迎える記念すべ
き年です。

会田病院が今まで以上に地域の皆
さまに必要とされ、地域に密着した病
院を目指し、本年も努力をしていく所
存です。

地域の皆さまの声に耳を傾け、患者
様へ家族様や保健、医療、介護・福祉
関係者等の皆さまが利用しやすく、質
の高い安全な医療システムの見直しに
取り組んで参ります。

また、ご利用される地域の皆さまに
情報発信を行い、地域の事業と当法
人の事業の協同によつて地域における
健康づくりに積極的に参加して参り
たいと考えております。

本年におかれましても皆さまのご健
康とご多幸をご祈念申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願申し上
げます。



看護部長
鈴木 洋子

新年あけまして
おめでとーございます

2016年が皆様にとって幸
多き年となりますように、また、
平穏な1年であることを心から
願っております。

昨年は専任の指導者を中心
に、研修やグループワークなどを通
し、計画的なスタッフ育成を進め
て参りました。看護実践能力は
若干の個人差はあるものの、少し
ずつ根拠に基づいた看護が提供
出来るように成長したのではない
かと思っております。今年も様々
な取り組みを通し、地域に根ざし
た中枢病院として患者様やご家
族様の方々に信頼され、安心して
頂ける医療、看護、介護が提供出
来ますよう努力して参ります。

今後とも皆様の温かい支援、ご
指導を頂きますようお願い申し
上げます。

新任

医師 紹介

院を卒業、医学博士号を取得いたしました。昭和36年岩手医大整形外科に入学し、(1年間)翌37年から一ノ関市の三神整形外科の副院長として勤務しました。昭和40年4月に武藤整形外科医院を開業し、平成10年には、老健施設「こすやサンブルク」を開設しました。その間身体障害者認定委員も勤めました。

郡山市湖南の生まれで、郷里の地で可能な限り貢献したく「生涯医師として全うする」所存であります。よろしくお願ひ申し上げます。



リハビリテーション科 医師 **武藤 博**

12月1日よりリハビリテーションを担当することになりました武藤博でございます。

昭和28年医師免許取得、昭和35年東北大学

消化器疾患は非常に多岐にわたり、お悩みの方も多い領域です。いままでの経験をいかして、正確な早期診断・早期治療を行い、少しでも貢献できるように全力を尽くしていく所存です。また、できるだけ苦痛の少ない内視鏡検査・治療を心がけたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



消化器内科 医師 **向井 俊太郎**

昨年の12月より内科医として勤務させていただきましたことになりました向井俊太郎と申します。平成20年に広島大学医学科を卒業し、国立国際医療研究センターにて4年間研修を行いました。

大学病院では、主に消化器疾患、特に胆膵領域の内視鏡診断・治療を専門として従事してまいりました。臨床の傍ら、膵癌治療に関する基礎的な研究も行っております。

介護の日イベント



高齢化などにより介護が必要な方が増加している一方、介護にまつわる課題は多様化しています。こうした中、多くの方々に介護を身近なものとしてとらえていただくとともに、それぞれの立場で介護を考え、関わっていただくことが必要となっております。

介護についての理解と認識を深め、介護サービス利用者及びその家族、介護従事者等を支援すると共に、これらの人々を取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施する日として「介護の日」は設定されました。

当院でも地域の皆様に広く介護のことを知っていただき身近に感じて頂きたいと思い10月9日(金)に介護の日イベントとして介護相談、介護用具の展示、オムツの当てる、栄養補助食品の試食など開催致しました。

特に栄養補助食品の試食コーナーでは種類の豊富さ、味も美味しいなど好評をいただきました。

地域の方々のご協力もあり75名の方に参加頂き、大成功させることができました。心より感謝申し上げます。

今回の介護の日イベントと併せて、バザーを実施し、売上金77,005円(バザー売上金75,000円+募金2,005円)を矢吹町社会福祉協議会へ寄付させて頂きました。

今後とも地域の皆様のご期待に添えますよう努めて参ります。

3病棟 **近藤 大貴**



消防訓練に参加して

毎年秋に行っている自衛消防訓練を10月21日(水)に実施致しました。

今回は深夜に入院病棟の洗濯室からの出火を想定した訓練です。

火災報知器の作動確認をはじめ、管理当直・看護当直・各病棟スタッフ間の密な連携及び消防機関への通報、患者さんに対する避難誘導など一連の手順を改めて再確認できました。

訓練後、避難はしごを使用した2階からの降下避難や消防ポンプ・消火器を用いた消防訓練も体験致しました。

今回の訓練を通して体験した内容を活かし、院内だけではなく家庭においても日頃から防災意識を高めていこうと思います。

総務課 古川 康



職員旅行満喫してきました

11月15日(日)職員旅行で東京ディズニーシーに行ってきました。

午前中はあいにくの雨でしたが午後からは天気にも恵まれ、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

普段話す機会の少ない職員の方々と交流し、温かい人柄に触れたり、職員旅行の良さを改めて実感しました。

また最初から最後まで安全で充実した旅に出来たのも、この日の為に色々準備してくださった方々のおかげだと思います。感謝したいです。

医事課 大槻 麻衣



管理栄養士 オススメレシピ!

鬼は外! 福は内!

節分の日「ヘルシー大豆つくね」

2月3日は節分の日です!

節分に豆をまく意味を皆さんご存知でしょうか?

豆まきには邪気を追い払うという意味があり、鬼の目(魔の目=魔目くまめ)に豆を投げつけて鬼を退治(魔を滅=魔滅くまめ)に通じると云われています。鬼を追い払う豆まきは、無病息災を祈る行事です。

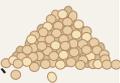
大豆の効能
動脈硬化予防
肥満予防、整腸作用
疲労回復、
などの効果が
得られます。



【作り方】

- ① 芽ひじきを水でもどす
- ② 鶏挽肉・大豆・長ネギ・水気を切った芽ひじき、⑤の調味料を入れ、粘り気が出るまで混ぜる
- ③ ②を八等分にし、形を整え、熱したフライパンへ油をひき、火が通るまで加熱する
- ④ 小ねぎは小口切りに切る
- ⑤ あなかけの材料を合わせておき、鍋でとろみがつくまで加熱する
- ⑥ ③に④と⑤をかけ完成!!

今回はそんなたくさんの効能のある大豆のレシピを紹介します。



【材 料】(4人分) ◆1人あたり約195kcal ◆塩分 約0.8g

鶏挽肉	200g	だし汁	100cc
大豆(ドライパック)	60g	酢	大さじ1
長ネギ	25g	しょうゆ	大さじ1
芽ひじき(乾燥)	5g	みりん	大さじ1
油	適量	砂糖	小さじ1
しょうが	1かけ	片栗粉	小さじ2
にんにく	1かけ	小ねぎ	適量
片栗粉	大さじ1		
酒	小さじ1		
塩コショウ	適量		

〈あなかけ〉

ノロウイルスについての 研修会を実施して



当院には感染を広げないために「感染対策委員会」があり、その実動チームとして感染対策チームがあります。今回そのメンバーで幼稚園・保育所職員の方を対象にノロウイルスについての研修を実施しました。

今年には新型が検出されており一層注意が必要で、私達の知識が感染防止に役立てばと思ったからです。

研修会には6施設59名に参加をいただきました。

私達が施設に出向き、ウイルスについての基礎的知識、実際の対応方法を実演しました。



感染対策委員 堀金 博子

また、个人防护具の正しい着脱の仕方、手指衛生の重要性、職員の方には実際に手洗いをしてもらいました。疑似汚れを付け、専用ボックスを通して普段の手洗い・正しい手洗いの順で汚れの残り具合を見てもらいました。洗い残しが予想以上に多く、驚きの声と共に正しい手洗いの重要性も認識されていたようです。

わかりやすいようにと演技も混ぜ込み苦労しましたが、感謝の言葉をいただき、我々のこれからの活動の励みともなりました。

会田メモリアルカップに参加して

10月12日(月)に行われた会田病院創立70周年記念ゴルフコンペに参加いたしました。ゴルフ未経験の中、1ヶ月前から練習を重ねコンペに挑みました。

結果は惨憺たるものでしたが同グループの方々には暖かい声をかけていただきながら楽しくプレーすることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

今後練習を重ね来年も頑張りたいと思います。

人事・経理課 吉田 雄一



未来くるやぶきの大会に参加してきました

矢吹駅前設立された「未来くるやぶき」にて初のフットサル大会が行われ、当院のフットサルクラブも大会に参加してきました。日頃の練習成果を試す機会として、全力でプレーし、気持ち良く大会を終えることができました。

矢吹町にもこのような運動施設ができたことで一般の方々の運動への意識が少しずつ高まっていくと思われまします。自分達もフットサルというスポーツを通して、それに貢献できるように活動を続けていきたいと思っています。

フットサルクラブ 副部長 穂積 潤



職員募集 奨学生

- 【職種】.....
 ・看護師 ・薬剤師 ・理学療法士 ・作業療法士
 ・臨床検査技師 ※その他職種につきましても募集しております。
 ※ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】.....

随時病院HPで更新しておりますのでご覧ください。
<http://www.aida-hp.or.jp/>

公益財団法人 人事課まで
会田病院 TEL 0248-42-2121



Photo News



9/26(土)
清掃ボランティア活動



10/9(金)
介護の日イベント



10/14(水)
高校生インターン



10/21(水)
秋季消防総合訓練



11/6(金)
聖和幼稚園児訪問



11/30(月)
理事会



12/1(火)
救命処置研修会



12/16(水)
呼吸器勉強会



1/4(月)
月例会

編集後記

新年あけまして
おめでとうございませす。

2015年が足早に過ぎ去り、2016年の幕
開けとなりました。

冬は寒くて体を動かすことが億劫になる季節で
すが、寒さを乗り越え体を動かすと、清々しい気持
ちで、ちょうど良いリフレッシュになります。昨年の夏
からジムに通い始め、運動すること
の楽しさが分かり始めてきました。

皆さんも、寒さに負けず体を動
かしてみたいかがでしょうか？



(K・M)

当院では患者様向けの
勉強会を開催しております。

糖尿病教室
フットケア

日時 2015年 12/10, 12/24 第2・4水曜日 開催日 14:00~16:00
会場 公益財団法人 会田病院 外来棟 3階 講義室
講師 糖尿病担当 河野 知典 4病棟看護師 安田 自樹

呼吸器勉強会

テーマ 「COPDの薬物療法」
講師 薬剤科 薬剤師 竹貫 綾子
日時 平成27年12月16日(水) 15:00~16:00
場所 会田病院 外来棟 3階講義室
お申込み 0248(42)2121 (総務課)

※詳しくは院内掲示をご覧ください。

外来診察 担当のご案内

受付時間

平日	午前8:30~11:30 午後1:00~ 4:30
土曜	午前8:30~11:30

お問い合わせ **TEL0248(42)2121**
※診療日や診察時間が変わる場合がありますので、
詳細はお問い合わせください。

平成28年1月1日現在

※福島医大・福島県立医科大学

科	曜日	診察部屋番号	月	火	水	木	金	土	備考
内科	1 診	A1	小池 荘介	河野 知典	井上 善英	向井 俊太郎	小池 荘介	小池 荘介	草野医師 診察日 月1回
	2 診	A2	星総合病院		向井 俊太郎	草野 英二	河野 知典	岩塚 邦生	
	午後	A3	河野 知典	河野 知典	垣花 昌俊	萩原 優	小野 祥太郎		
	午後	A2	岩塚 邦生 (消化器内科外来)		岡田 麻里 (腎臓病外来)		佐々木 信博 (腎臓病外来)	消化器内科外来 予約制 腎臓病外来 予約制	
呼吸器科	午前	A3	会田 征彦	会田 征彦	垣花 昌俊	萩原 優	小野 祥太郎		
心療内科	午前	A5				野村 邦朗 石下 恭子		野村医師 隔週診察 石下医師 月1回診察	
外科	午前	A6	星野 正美	福島医大 星野 正美	古河 浩	梶原 周二	星野 正己	梶原 周二 星野 正己	梶原医師 第1・3・5土曜日診察 星野医師 第2・4土曜日診察
	午後		梶原 周二	福島医大 星野 正美	古河 浩	梶原 周二	星野 正己		
整形外科	午前	A7	長谷川美規 予約制(受付11時まで)	湯澤 斎			会田 北斗	会田 北斗 受付10時30分まで	湯澤医師 月2回診察
	午後						会田 北斗		
眼科	午前/午後	A8	石井 洋次郎				須田 雄三	火曜日は 10月より休診	
泌尿器科	午前	A11	福島医大 予約制					穴戸 俊英	福島医大 第2・4月曜日診察 穴戸医師診察日 月2回
	午後		福島医大 受付14時まで						
脳神経外科	午前	A5(火/土) A7(木)		伊澤 仁之 田中 悠二郎		田中 悠二郎 伊澤 仁之		担当 医師	田中医師診察 月1回(木曜日) 伊澤医師診察 月1回(火曜日) 担当医師 第2・4土曜日診察
皮膚科	午前/午後	A10				沼田 貴史			
婦人科	午前	A12		岩佐 秀一		高崎 克哲			高崎医師 第2・4木曜日 診察
	午後					高崎 克哲 受付15時まで			
形成外科	午前	A10	上田 和毅						
リハビリテーション科	午前	リハビ棟 2階	向井 俊太郎	武藤 博	武藤 博	武藤 博	武藤 博	武藤 博	
	午後		向井 俊太郎	武藤 博	武藤 博	武藤 博	武藤 博	武藤 博	

公益財団法人 会田病院

理事長 会田 征彦

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216番地
TEL 0248 (42) 2121
FAX 0248 (42) 2348

併設 健診センター

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町216番地
TEL 0248 (42) 3592
FAX 0248 (42) 2226

併設 すみれ訪問看護 ステーション

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248 (44) 2566(FAX 兼)

指定居宅療養管理指導 事業所(往診)

TEL 0248 (42) 5407

併設 すみれ介護相談 センター

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248 (42) 3755
FAX 0248 (42) 3781

併設 会田病院 ヘルパーサービス

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248 (42) 2305(FAX 兼)

併設 会田通所 リハビリテーション

〒969-0213
西白河郡矢吹町本町260番地
TEL 0248 (42) 2260
FAX 0248 (42) 2135



無料送迎バス のご案内

●送迎バスをご利用される方は、
お電話にて予約をお願いします。
安全運転でお迎えいたします。

予約時間帯 月~金 13:00~16:30
土 9:00~12:00

TEL0248(42)2142(運転部)

※時間ごとの運行を心がけておりますが、道路状況により
多少遅れることがあります。あらかじめご了承ください。